

鈴の音 だより

松阪市民病院



2026年2月
Vol.346

松阪市

職員が誇りを持って働き、地域の皆様が誇れる病院

編集・発行 松阪市民病院



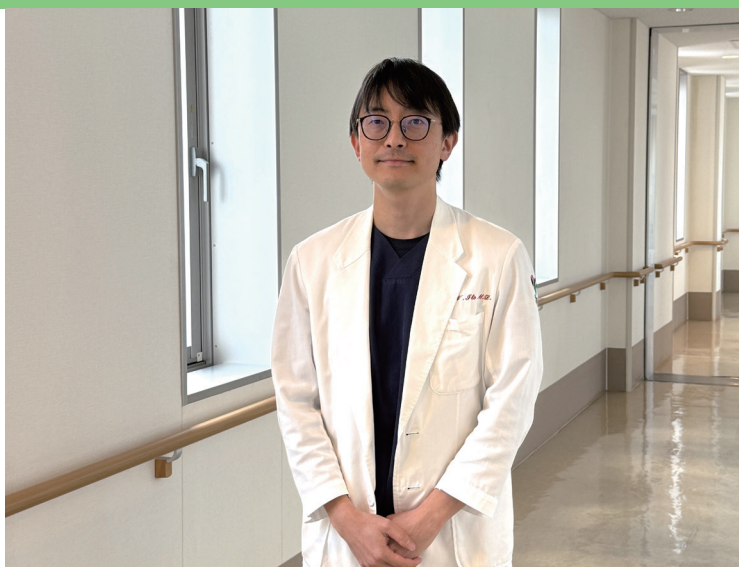
スポーツ・膝・足の外科外来を開始します

整形外科(三重大学整形外科) 伊東 直也

三重大学整形外科の伊東直也です。2025年4月から寄附講座講師として松阪市民病院で火曜日、水曜日、第2・4金曜日の外来と手術を担当させていただきます。最近では少しずつ近隣の先生方からご紹介をいただくことが増えてきました。誠にありがとうございます。

私はこれまで三重大学のほか鈴鹿回生病院、伊勢赤十字病院で膝・足のスポーツ傷害に対する関節鏡手術を学んできました。関節鏡手術は低侵襲で早期リハビリテーション・早期スポーツ復帰が可能でありスポーツ傷害には必要不可欠な手術です。松阪地区では関節鏡手術を行っている施設は少なく、膝の前十字靱帯(ACL)断裂や半月板断裂、足関節捻挫に伴う慢性足関節外側不安定症(CLAI)や距骨骨軟骨損傷(OCIT)などのスポーツ傷害に対する手術加療は市外の病院に紹介されていたと思います。スポーツ傷害はもちろん、整形外科の治療は手術がゴールではなくスタートラインであることが多く、その後のリハビリテーションやスポーツ復帰の過程が非常に重要です。診断から治療、そしてスポーツや日常生活への復帰まで同じ病院で一貫して行えることは患者さんにとって非常に大きなメリットだと思います。

ACL断裂に対してはハムストリングや膝蓋腱、大腿四頭筋腱を用いたACL再建術を行います。半月板断裂に対しては、可能な限り半月板を温存して縫合術を第一選択としています。CLAIに対してはアンカーを用いた靱帯修復術や、ハムストリングや人工靱帯を用いた靱帯再建術を行います。OCITに対しては病変の状態に応じて骨髄刺激処置や骨軟骨片固定術、骨軟骨柱移植術を行い



ます。これらの手術はほとんど関節鏡下にて行っています。

また、半月板断裂の中には下肢のアライメント異常が原因となっていることも多く、この場合は半月板だけを治療しても成績が悪いためアライメントの矯正術を併用することが必要です。特に、内反膝は内側半月板断裂が原因で軟骨が傷み、変形性膝関節症が進行して人工膝関節置換術となってしまうケースが多いですが、内側開大式脛骨粗面下骨切り術(OWDTO)を行うことで変形性膝関節症の進行を遅らせることができます。

今後はスポーツ傷害だけでなく、OWDTOや外反母趾矯正手術などの変性疾患に対する手術も積極的に行っていきたいと考えています。また、スポーツ傷害の治療は手術だけでなく保存療法の対象となる疾患も多いため「スポーツ・膝・足の外科外来」としてより専門性の高い外来診療を目指してまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

第11回

日本呼吸理学療法学会 学術大会

第11回日本呼吸理学療法学会学術大会にてリハビリテーション室から7人が発表しました。『『栄養療法は補助療法??』いやいや呼吸理学療法の主役です!!』のテーマでリハビリテーション室の守川が講演を行いました。

講演では日々の臨床で蓄積してきたデータをもとに「栄養状態が悪ければ、リハビリテーションの成果は最大化しない」という事実を呼吸器疾患患者の実例とともにわかりやすく解説しました。



武村 裕之

間質性肺疾患患者を対象とした1STSTにおける6分間歩行距離400m以下のカットオフ値の検討

稲葉 匠吾

運動習慣がない就学中の特発性側彎症患者に対し、外来理学療法により身体機能が改善した一症例

楠木 晴香

在宅高流量鼻カニュー酸素療法を導入した慢性閉塞性呼吸器疾患を合併した気管支拡張症患者の一症例

橋爪 裕

特発性肺線維症患者における1STSTを用いた6MWTのSpO₂最低値の推定式の作成

柴田 華蓮

気管支鏡的肺容量減最術を施行後に合併症を発症したが、健康関連QOLが改善した重症COPD患者の一症例

落合 彩夏

低BMIを伴う慢性閉塞性肺疾患患者の体重あたりの安静時エネルギー消費量の特徴

「日本臨床薬理学会認定CRC」を取得しました。

臨床研究・創薬センター 治験コーディネーター 森井 瞳

はじめまして。臨床研究・創薬センターに所属しております治験コーディネーターの森井です。

治験コーディネーター(CRC: Clinical Research Coordinator)は、日頃より治験・臨床研究に参加いただく患者さんの安全を第一に考え、医師、病院内の医療スタッフや製薬企業との連携など、治験・臨床研究を円滑に進めるための調整役としての業務を担っています。

現在、当院では呼吸器領域(肺がん、COPD、肺MAC症、気管支拡張症等)の臨床試験を約40試験実施しており、臨床研究・創薬センターには10名のCRCが所属しています。

このたび私が取得した「日本臨床薬理学会認定CRC」は、日本臨床薬理学会から、社会一般の人々がより有効かつ安全な医療技術の恩恵が受けられるように、臨床試験の適正かつ円滑な実施に貢献できる人材を認定CRCとして認定している制度です。

治験の手順は、新薬の安全性と有効性を確保するために煩雑で複雑になる傾向にあります。専門性を高め、より安全で質の高い臨床試験の実施に貢献できるよう努力してまいります。

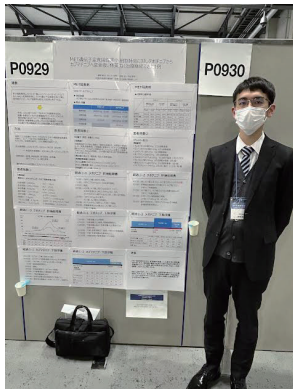


第35回 日本医療薬学会年会

発表者 薬剤部 稲垣 雄斗

題目 MET遺伝子変異陽性非小細胞肺癌に対し
テポチニブからカプマチニブへ変更後、
休薬なく治療継続できた1例

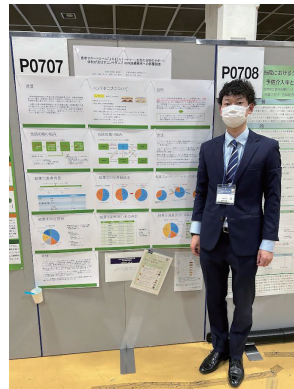
先日開催されました、第35回日本医療薬学会年会に参加し、「MET遺伝子変異陽性非小細胞肺癌に対しテポチニブからカプマチニブへ変更後、休薬なく治療継続できた1例」という題目でポスター発表を行いました。本症例と同様に、MET阻害剤を使用している他施設の方々から様々な質問をいただきました。特に、MET阻害剤の副作用対策について意見交換を行いました。今回のポスター発表を通じてMET阻害剤について学ぶことができ、非常に貴重な経験となりました。



発表者 薬剤部 時田 将真

題目 患者サポートツール「よりそいパートナー」を
含む当院のサポート体制が及ぼすニンテグ
ニブの内服継続率への影響調査

先日開催された、第35回日本医療薬学会年会に参加し「患者サポートツール『よりそいパートナー』を含む当院のサポート体制が及ぼすニンテグニブの内服継続率への影響調査」という題目でポスター発表を行いました。副作用などで内服継続率の低さが課題となっているこの薬剤について、当院での継続率とサポート体制がどのように影響しているかを調査し、発表しました。また、同じく同薬剤が多く処方されている他施設の方とも意見交換を行うことができ貴重な経験となりました。



中部ブロックDMAT実働訓練に参加して

----- 新病棟3階 DMAT看護師 瀬古 翔也 -----

令和7年11月15日福井県で行われた、中部ブロックDMAT実働訓練に参加しました。訓練想定は、大雨に加え、福井平野東縁断層帯でマグニチュード7.6の地震が発生したという内容で、福井・丹南医療圏の福井県立病院に向かいました。主な訓練内容は、他県DMAT隊と共に病院災害対策本部で、患者搬送の調整や、飲水・食料・燃料などの確保をすることでした。



訓練を通して、災害時の活動では情報収集が重要であると改めて実感しました。災害時の病院の役割は、病院の被害状況を早期に把握し入院患者の安全確保を行うと共に、災害派遣のDMATと協働し、松阪市民の被災者に医療を早期に提供することが重要となります。病院職員が、日頃から災害意識を持ち準備が行えるようDMATの活動を行っていきたいです。

医療安全推進週間の取り組み報告

厚生労働省では、「患者の安全を守る」ことを中心とした総合的な医療安全対策を推進するため、2001年から各関係者の共同行動を「患者の安全を守るための医療関係者の共同行動」と命名し、様々な取り組みを推進しています。当院では2025年11月25日～28日を松阪市民病

院の医療安全推進週間としさまざまな取り組みを行いました。期間中にはリーフレット入りマスクの配布や松阪市のゆるキャラ「ちゃちゃも」、看護協会のゆるキャラ「かんごちゃん」の訪問があり、来院者に医療安全をアピールしました。11月28日には、医療安全ワークショップを開催し約150名程度のかたに参加していただきました。今後も安全で安心できる医療の提供につとめてまいります。

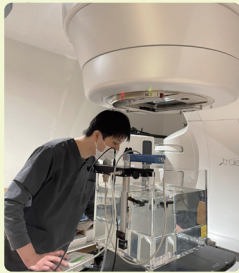


放射線治療装置の品質管理とは？

放射線治療は、がん治療の柱のひとつです。治療効果を最大限に引き出すには、装置が正常に動き、必要な線量を正しく照射できることが欠かせません。その根底を支えているのが、放射線治療装置の品質管理（QC：Quality Control）です。普段は目に触れない作業ですが、治療の安全性と効果を左右する非常に重要な工程です。

なぜ品質管理が必要なのか

放射線量測定の様子



年次点検の様子



● 正確な線量を届けるため

放射線治療では、腫瘍に必要な線量を、周囲の正常組織にできるだけ影響を与えずに照射することが求められます。装置の出力がわずかにずれるだけで、治療効果や副作用のリスクが変わります。

● 1mmのズレも許されない世界

放射線治療では、照射位置のズレが治療成績に直結します。そのため、スタッフが連携しレーザー位置、照射位置、画像誘導機能など、細やかな項目を定期的に確認しています。品質管理は治療の安全性と効果を支える「縁の下の力持ち」です。

● 日々の積み重ねが「安心」をつくる

品質管理は、特別なときだけに行うものではありません。毎日・月次・年次といった定期点検に加え、外部機関による線量校正など多層的なチェック体制を整えています。こうした地道な作業の積み重ねが、安全で確実な治療を支えています。

毎朝の点検



これからも「安全で正確な治療を届ける」という使命のもと、品質管理に取り組んでいきます

防

災

訓

練

を

実

施

しました

防災対策推進委員 看護師 筒井 里佳

今年度の院内防災訓練は、南海トラフ地震・震度6を想定し、災害時の傷病者対応の流れについて開催しました。訓練は若手職員対象とし、松阪看護専門学校の看護学生さんにも傷病者として参加協力していただきました。

院内防災対策推進委員・DMATメンバーが中心となり各エリアの設営を行い、トリアージエリア（傷病者の重症度・緊急度を判断）、緑エリア（保留群）、黄エリア（待機的治療群）、赤エリア（最優先治療群）の基本的な学習会を行った後、実働訓練を行いました。

訓練に参加した職員からは、混乱した状態での情報の伝達の難しさや、各エリアの配置はどのようにするのが良いかなど多数の意見がきかれました。現実味のある傷病者設定であったため、職員が傷病者の緊急度や重症度に応じて、適切な処置が行えるよう訓練が行えました。

地震発生時には、多くの傷病者が当院に搬送されることが考えられます。予期せず起こる災害に備え、病院職員や入院患者さん、地域住民の方々も不安を感じることなく、医療や看護を提供することができるよう、今後も職員は訓練を重ねていきたいです。



病院知っ得

FilmArray®システムに続き、SpotFire® Rパネルの導入で新時代爆走中!!

原理: Multiplex-Nested PCR法

検体: 鼻咽頭ぬぐい液

迅速性 検体到着から約17分で結果報告

網羅性 一度の検査で多くの病原体を検出

FilmArray
は60分



SpotFire® Rパネル15項目の測定が可能

ウイルス

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)
季節性コロナウイルス
インフルエンザA
インフルエンザA/H1-2009
インフルエンザA/H3
インフルエンザB
RSウイルス
アデノウイルス

ウイルス

ヒトメタニューモウイルス
ヒトライノウイルス/エンテロウイルス
パラインフルエンザウイルス

バクテリア

Bordetella pertussis (百日咳菌)
Bordetella parapertussis (パラ百日咳菌)
Chlamydia pneumoniae
Mycoplasma pneumoniae

新たに導入された
SpotFire® Rパネル!!
17分で検査完了



実際の検査の様子

みえ松阪マラソン2025

松阪市制施行20周年記念大会

放射線室 萬濃 拓朗

みえ松阪マラソン2025(松阪市制施行20周年記念大会)に、救護班(スタート救護所・フィニッシュ救護所)として参加させていただきました。当日は、松阪マラソンとしては初めての雨天開催となり、気温は例年より高めではあったものの、ランナーの転倒増加を心配しながらのスタートとなりました。

実際の救護所では、例年と同程度の低体温症や外傷のランナーの方が来所されましたが、大きな混乱もなく無事に活動を終えることができました。

完走された方も、途中で走行を断念された方も、それぞれの挑戦に心より敬意を表します。皆さま、本当にお疲れさまでした。



院長も自己新記録
4時間10分46秒で
完走しました

がんサロン催しのご紹介

西病棟3階 看護師 中山 桃



12月のがんサロンは、「一緒に作ろう!クリスマスカード」をテーマに講師の作業療法士さんのアドバイスのもと、ツリーやプレゼントが飛び出すクリスマスカードを作成しました。それぞれのセンスが光るやさしさあふれるクリスマスカードが完成しました。完成後は参加した人たちとカードを見せ合い楽しい時間を過ごしました。

またクリスマスカラーのムースを栄養科管理室からプレゼントしていただき、少し早いクリスマスを楽しむことができました。

がんサロンは、患者さんご家族を対象に、毎月第3水曜日に1時間半程度、がんや療養に関する勉強会とおしゃべり会を行っています。がんサロンへの参加は、予約不要で参加費無料です。詳しい開催日やテーマについては院内に掲示しているポスターをご覧ください。がん相談窓口までお問い合わせください。

令和8年2月分 | 松阪市民病院外来医師担当表

令和8年1月21日作成

内科		月	火	水	木	金
	一般内科(新患)	井上れみ	三重大 三輪啓志	新患 蓮見伊織	新患 松浦信太	三重大 田丸智巳
	糖尿病科			三重大 西濃康太		
	特殊外来(午後) (13:00~15:00)	腎内 石川英二		▲4.18.25日 血液 三重大 山口素子		

(注)一般内科受付は11:00まで (注)水曜日午前2診(糖尿)は予約診療のみ。

▲(注)水曜日午後2診(糖尿)は第1,4は火曜日。

▲(注)水曜日午後1診(血液)は第1,3,4予約診療のみ。

※変更がある場合がありますのでご確認ください。

消化器・内視鏡治療センター		月	火	水	木	金
	一般外科(新患)	(再来) 横井 一	伊佐地秀司	春木祐司	中橋央棋	藤永和寿
	一般外科(再来)	(新患) 廣 純一郎		中橋央棋	春木祐司	
	乳腺外来(午後) (13:30~)		滋澤麻衣			
	消化器内科(新患)	川村 聡	西脇 亮	藤部幸大	吉元琢真	河内瑞季
	消化器内科 (再来)	西脇 亮				
	特殊外来(5診) 午後(13:30~16:30)	大腸 廣 純一郎	肝臓 清水敦哉		黒田 誠	藤部幸大

(注)一般外科受付は11:00まで (注)毎週火曜日午後乳腺外来は予約診療のみ。

火曜日特殊外来(5診)は予約診療のみ。

呼吸器センター	呼吸器内科		月	火	水	木	金
		1 診	再診 田口 修	新患 中西健太郎	再診 田口 修	再診 井上れみ	再診 田口 修
		3 診	畑地 治	畑地 治		畑地 治	畑地 治
		2 診 (補助診)		再診 江角征哉	新患 ▲4.18日 古田裕美 ▲25日 江角真輝	再診 古田裕美	
		4 診 (再来)	睡眠外来 鈴木勇太	鈴木勇太	伊藤健太郎	新患 鈴木勇太	新患 藤浦悠希
		5 診	新患 江角征哉	西井洋一	再診 藤浦悠希	再診 中西健太郎	再診 坂口 直
	呼吸器外科	内科3診 (新患・再来)	手術	高尾仁二	手術	高尾仁二	手術
		内科2診		加納 収		中村 文	

(注)新患の受付は11:00まで

▲2月水曜2診は第1,3は古田医師、第4は江角真輝医師となります。

循環器内科		月	火	水	木	金
	午前	1 診	泉 大介	飯尾滉太郎	市川和秀	泉 大介
	午後	2 診				
		午後	検査	検査	検査	検査

心臓血管科		月	火	水	木	金
	午前				水元 亨	

(注)2週目木曜日のみ整形外科2診

整形外科		月	火	水	木	金
	午前	1 診	池村重人	大学医師	池村重人	▲5.19日 池村重人 ▲12.26日 山田淳一
		2 診		大学医師		▲13.27日 大学医師
		3 診	近藤瞭太郎	近藤瞭太郎	脊椎外来 山田淳一	山田淳一
	手術	午前	手術	手術	手術	
		午後	手術	手術	手術	

(注)新患、予約のない方の受付は11:00まで。 (注)木曜1診の受付10:00まで。

▲2月木曜1診は第1,3池村医師、第2,4は山田医師となります。

リウマチ科		月	火	水	木	金
	午前				舘 靖彦	

(注)完全予約制

泌尿器科		月	火	水	木	金
	午前	1 診			再来 米村重則	泌尿器科医師
	午後	2 診	新患 米村重則	新患 櫻井正樹	新患 櫻井正樹	新患 櫻井正樹
		午後	検査	手術	手術	検査

眼科		月	火	水	木	金
	午前	1 診	前原 陸	前原 陸	再来 田中弥生	前原 陸
		2 診	高嵩祐布子	高嵩祐布子	高嵩祐布子	代務医師
	午後	1 診	前原 陸	前原 陸		
		2 診	高嵩祐布子	高嵩祐布子		
		午後	検査	検査	手術	検査

(注)午後の診察は月曜日・火曜日の13:30~14:00。

形成外科		月	火	水	木	金
	午前					▲6.20日 小泉正樹
	午後					手術

▲(注)2月は第1,3金曜。予約診療のみ。

皮膚科		月	火	水	木	金
	午前	1 診	杉本恭子	手術	杉本恭子	杉本恭子
	午後	2 診	大学医師	大学医師		

(注)新患の受付は10:00まで。要紹介状。予約診療のみ。

歯科・口腔外科		月	火	水	木	金
	午前	初 診	松山博道	交替	交替	仲村秀明
		予 約	中橋一裕	交替	手術	▲12.19日 中橋一裕 ▲5日 松山博道
		予 約	仲村秀明			仲村秀明
	午後	中橋一裕	中橋一裕	手術・ 歯周病 外来	▲12.19日 中橋一裕 ▲5日 松山博道	手術・ 歯周病 外来

(注)受付は10:00まで (注)顎関節外来は予約診療のみ。

(注)火曜午前初診・予約は中橋医師と松山医師の交替制となります。

(注)急遽担当医師が変更になることがあります。

▲(注)2月木曜診察は中橋医師12,19日、松山医師5日。

脳神経外科		月	火	水	木	金
	午前	1 診		三重大 当麻直樹		
	午後	2 診				

(注)受付は11:00まで

耳鼻咽喉科		月	火	水	木	金
	午前	大学医師		大学医師	大学医師	

受付時間 科により異なります。

午前 8:15~11:30 午後(診察のある科のみ) 13:00~14:00

変更箇所 ★:今月より変更 ●:月途中より変更 ■:先月より変更 ▲:今月のみ

松阪市民病院

〒515-8544 三重県松阪市殿町1550番地 TEL 0598-23-1515(代表)